

SR11000/J1 フリーソフトウェアについて

システム運用係

2005年8月1日にSR11000/J1でのインタラクティブ(試用)サービスの開始に伴い、以下のフリーソフトウェアを公開しました。(SR11000/J1のインタラクティブサービスに関する内容については、本誌別記事「SR11000/J1におけるインタラクティブ(試用)サービス開始のお知らせ」を参照して下さい)。以下のフリーソフトウェアは、バッチ環境(NQS)では利用できませんので、御注意下さい(ATLAS 除く)。また、各自の責任の上で、必要に応じてPATHの追加等の設定を行い、御利用下さい。

利用についての詳細は以下のとおりです。

- ・フリーソフトウェアのインストール先

`/usr/local/unsupported/bin`

- ・インストールしたソフトウェア

ソフトウェア名称	バージョン
emacs	21.4
tcsh	6.14.00
bash	3.0
less	358 + iso254
ATLAS	3.6.0

- ・ソフトウェアのバージョン、種類等は今後変更となる場合があります。
- ・ソフトウェアの追加、更新等の御要望は御容赦下さい。
- ・tcsh、bashのシェルプログラムは、ログインシェルとして使用する事はできません。
- ・ATLASパッケージ(BLAS、LAPACK)については、本誌別記事「SR11000/J1 BLAS・LAPACKの利用について」を参照して下さい。

なお、これらのソフトウェアには実行時にエラーなどの不具合が発生する場合があります。また、システム固有の構成に対応していないプログラムや本センターシステムで使用が制限されている機能を使用したプログラムは動作不良や、場合によってはシステム障害を引き起こす可能性があり、本センターでは保守・管理上の対応が困難なため、フリーソフトウェアに関しては保証、サポートを行いません。フリーソフトウェアの使用により生じた問題には対処致しませんので各自の責任で御利用下さい。また、使用方法、性能、障害等に関する質問等についても回答できませんので、予め御承知置き下さい。